

「地域と調和した施設づくり」に取り組んでいます



この事業は、既存庁舎の老朽解消及び、耐震性能の確保を目的とし、庁舎の建替を行うものです。

国土交通省では、「地域との連携」を重要施策の一つとし、良好な景観形成に資する庁舎整備に取り組んでいます。この庁舎にも、唐津のレンガ造建築物を想わせるデザインや周辺と一体感を持たせるためのフェンスのない外構計画などを採用しています。

H28年から「唐津みなとまちづくり懇話会・デザイン専門家会議」に担当者として出席し、建物の周囲からの見え方などの説明を行い、議論を進めてきました。地域の皆さんの生の声やまちづくりに関する想いに触れることで、「地域との連携」を実現することの意義を直に感じる事ができました。今後も、地域の歴史、文化及び風土の特性を考慮した施設整備、つまり、「地域と調和した施設づくり」を目指して取り組んでいきます。



《唐津港湾合同庁舎概要》
 庁舎 鉄筋コンクリート造3階建 延べ面積 3,526㎡
 明治・大正期の唐津のレンガ造建築物を想わせるタイルが特徴です。

私のやりがい



官庁営繕は、建築/設備の技官が約80名在籍し、ベテランから若手まで、施策を反映させながらどう建物に落とし込むか意見を交わします。そこが一番の醍醐味であり、やりがいを感じる場所でもあります。

オフの過ごし方



私は天気の良い日に、山登りやドライブで観光地を周ったりして、オフを楽しんでいます。整備局は福利厚生がしっかりしておりワークライフバランスがとれる楽しい職場です。